

学校名	群馬県立勢多農林高等学校
-----	--------------

## 平成 28 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

### I 委託事業の内容

#### 1. 研究開発課題名

「勢農ブランド確立への挑戦！未来の農業を拓く専門人材育成プログラムの開発  
～ 地方創生や成長産業としての農業を担うための資質・能力の育成 ～」

#### 2. 研究の目的

現在の農業の現状や課題を考えると、これからのわが国の持続可能な発展には、6次産業化をすすめ農業を中心とした地方創生、さらには積極的な農産物の輸出など攻めの農業に象徴される成長産業としての農業の推進が必要と考えられる。

そこで本事業では、地方創生や農産物の輸出等に果敢に挑戦しようとする将来のスペシャリストの育成を目的に、生涯にわたって自ら考え課題を解決していく力や主体的に行動できる力（課題解決実践力）を持った人材の育成に必要なカリキュラムや学習指導法・評価方法の研究、地域連携の研究、さらにはキャリア教育の在り方について研究を推進する。

#### 3. 実施期間

契約日から平成 29 年 3 月 15 日まで

#### 4. 当該年度における実施計画

##### (1) 研究内容

##### ア 学習指導法等の研究

(ア) 学校設定科目「農業と人間」の内容・指導法の研究及び「農業と環境」の指導法の研究

1 年次の「農業と環境」では、プロジェクト学習を通して、農業学習の基礎的・基本的な知識・技術の定着を図るとともにプロジェクト学習法を習得する。学校設定科目「農業と人間」では農業専門分野の理解や進路啓発（キャリア教育）を促す学習を展開する。また、「農業と環境」「農業と人間」で『課題発見力の育成』を目指す。専門分野の先進的、専門的な企業等への視察研修を適時に導入し、その効果を高める。学習の成果を図る手段として日本農業技術検定を導入し、農業知識の定着や専門分野への意欲向上を図るものとする。

(イ) 学校設定科目「農業経営実践」※<sup>1</sup>「地域連携Ⅰ」※<sup>1</sup>「地域連携Ⅱ」「農業マーケティング」の内容・指導法の研究

2・3 年次に設定の科目であるため、1 年目では各学科での適切な学習教材の開発や指導計画の作成などの検討を行う。

※<sup>1</sup> 各学科に設置する学校設定科目で「植物科学と地域連携Ⅰ」のように「各学科名又はコース名と地

域連携Ⅰ」「各学科名又はコース名と地域連携Ⅱ」とする。

a 「農業経営実践」

生産プロジェクトにおいては、GAP（適正農業規範）や有機認証制度等の概念や取組の理解を促す。また、農畜産物の6次産業化の全ての工程（生産、加工、販売）を実践し、より効率的な農業経営や有利に販売していく創造性や発想力の育成を習得するための、効果的な学習内容や指導法を研究する。

b 「地域連携Ⅰ・Ⅱ」

地域産業界との連携やプロジェクト学習を通して、地域農業や産業の特徴、環境や文化等を理解し、地域の課題や問題を発見し（『課題発見力』）、そこから課題解決の方法や手法（『課題解決力』）を考え、最終的に地域農業や産業を創造できる力（『プロデュース力』）の育成が段階的に図れるプロジェクト内容の検討や指導法の研究を行う。地域社会との幅広い連携により、新たな発想から、創造的な農業を見出す力を育成する。

c 「農業マーケティング」

農産物の販売や流通についてのマーケティング知識を習得し、効果的な販売法や農産物の海外輸出について提案できる力を身に付ける。また、農業のグローバル化に対応できる創造性豊かな能力の育成を図るための学習内容、指導法を研究する。

(ウ) 各科の中核（農業）科目の内容・指導法の研究

農業の中核科目において、各専門分野のプロジェクト学習を授業に取り入れ、主体的・協働的な学習活動を展開することにより、知識・技能の着実な定着を図り、課題解決実践力を育成する。専門分野のプロジェクト内容については、1年時より段階的に系統的な内容となるよう、学科主任を中心に検討し取組んでいく。1年次の専門科目においては、早期の検討を行い、『課題発見力の育成』に重点をおいたプロジェクト学習を取り入れた授業展開を実践する。

(エ) 普通教科との連携強化

普通教科においては、社会人として必要となる一般教養や農業を学習する上で必要となる基礎的な学力の習得を行う。特に、基礎的な学力の習得では、農業の専門分野と関連性を持たせながら授業展開をすることにより、生徒は学科や専門分野への興味・関心や普通教科への学習意欲が高められ、個別の基礎学力の向上へと結び付けることができる。1年目では、普通教科での教材（題材）開発を進め、1年次に導入できるものは実践・研究をしていく。

(オ) 専門学科講師派遣事業の内容の検討

「専門学科講師派遣事業」は、従来より専門学科のより深い知識、技術の習得のため実施している事業である。本研究では、全学科統一的な内容として「キャリア教育に関する分野」「民間、行政関係講師による専門知識・技術に関する分野」「大学関係講師による専門知識・技術に関する分野」に絞り事業展開し、『課題発見力』『課題解決力』『プロデュース力』の育成を図る。より専門的な講師による講義により、新たな発見・発想から、創造的な農業を見出す力を育成する。

(カ) 勢多農林直売所を活用した流通学習の指導法の研究

1年目では、農産物の販売・流通学習の場として、校内に常設の簡易農産物直売所の設置検討を行う。検討内容は直売所の運営組織や運営方法、運営規定等である。また、設置検討と並行し、今年度行われる校内外の農産物販売会や各種イベントにおいて、次年度以降の流

通学習を念頭に置いた運営、取組を行っていく。

(キ) 学科間連携の研究

学科の専門分野を生かした分野間の連携を図り、農業の6次産業化や地域保全、再生可能エネルギー活用、地域連携等の外部に発信できる「勢農ブランド」の具体的な取組みや、学科間連携の専門教科内での位置付けを検討していく。

(ク) 評価法の研究

各教科、事業ごとに、適切な評価方法及び検証方法を検討・実践していく。

**イ 地域連携の研究**

(ア) 地域資源を活用した農業クラブプロジェクト活動の研究

群馬県の地域資源を活用した農業クラブ活動を推進し、地方農業の活性化から地方創生に結び付ける研究の取組を行う。具体例として「桑の葉パウダーを利用した地方創生プロジェクト（仮題）」等に取り組む。

(イ) 高大連携事業の研究

既存の高大連携事業の取組を継続的に推進し、高度な知識・技能を習得させ、将来の農業関連のスペシャリストの育成を目指す。また、より専門的で高度な内容の大学との連携により、新たな発想から、創造的な農業を見出す力を育成する。そのために、全学科で高大連携事業を取り入れ、1年目より実施していく。

(ウ) フィリピン大学ロスバニヨス校附属ルーラル高校との交流活動の研究

群馬県農政部やJAの協力のもと、日本産農畜産物の評価や農畜産物の輸出入等に関する農業のグローバル化を盛り込んだ交流活動を1年目より実践する。

(エ) 連携先のネットワーク構築

大学や研究機関、JA、先進農家等との連携強化や、飾花活動等の地域交流活動の充実を図り、学校全体の一元化したネットワークの構築に取り組む。また、新たな地域連携の開拓や指導人材の発掘を行う。

**ウ キャリア教育の研究**

(ア) 系統的なインターンシップの研究

1年目より、1年次短期インターンシップ、2年次長期インターンシップ、3年次デュアルシステム（希望者）の系統的なインターンシップを全学科で実施をする。インターンシップの実施時期、実施期間、受入先等の検証及び教育課程内での位置付け等、より効果的なインターンシップの方法を研究する。

(イ) 専門科目内でのキャリア教育の指導法の研究

2・3年次の専門科目内におけるキャリア教育の在り方や位置付け、指導法を検討する。

上記の研究の成果は、高等学校教育研究会農業部会及び群馬県教育委員会、群馬県農政部等との連携事業や各種行事・委員会やSSHとの合同成果発表会等で発表の機会を設け、県内高校・関係機関へ広く報告するものとし、群馬県の農業人材育成のモデル事業として確立させていくことを考えている。

(2) 効果測定について

ア 定量目標の数値測定法 (評価レベル)

事業の満足度については、アンケート調査を実施し、下記に示した4段階で評価レベルを得る。

4	とても満足
3	満足
2	あまり満足でない
1	満足でない

イ 定性目標・定量目標・効果測定

		定性目標	定量目標	効果測定
ア 学習 指導法 等の 研究	(ア) 「農業と環境」と学校設定科目「農業と人間」の内容・指導法の研究			
	「農業と環境」	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト学習法の習得</li> <li>専門知識・技術の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品法 (ノート、レポート、プレゼン、成果物)</li> </ul>
	「農業と人間」	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業への興味・関心の向上</li> <li>農業専門分野の理解</li> <li>専門分野の進路意欲向上</li> <li>先進農家・企業等視察 2件以上実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> <li>日本農業技術検定3級合格70%及びそれに相当する知識・技術の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテスト</li> <li>観察法 (行動、発言、発表、実技)</li> <li>アンケート調査</li> <li>生徒の満足度</li> <li>農業技術検定の取得状況 (取得率、合格率等)</li> </ul>
	(イ) 学校設定科目「農業経営実践」「地域連携Ⅰ・Ⅱ」「農業マーケティング」の内容・指導法の研究			
	a「農業経営実践」 (2年目以降実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>GAPや有機認証等の理解、手法の習得</li> <li>有利販売法の習得</li> <li>新たな農業手法の創造や発想力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品法 (ノート、レポート、プレゼン、成果物)</li> <li>ペーパーテスト</li> <li>観察法 (行動、発言、発表、実技)</li> </ul>
	b「地域連携Ⅰ・Ⅱ」 (2年目以降実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域農業等の理解</li> <li>地域産業界との連携強化</li> <li>新たな農業手法の創造や発想力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> <li>地域に対する理解 4段階評価3.0以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査</li> <li>生徒の満足度</li> <li>検定の取得状況 (取得率、合格率等)</li> </ul>
	c「農業マーケティング」 (3年目に実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業経営に対する興味・関心、意欲の向上</li> <li>マーケティング知識の習得</li> <li>消費者ニーズの理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> </ul>	

(ウ) 農業専門科目の内容・指導法の研究			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野の興味・関心の向上</li> <li>・専門知識・技術の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> <li>・専門分野に対する関心・意欲 4段階評価3.0以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品法（ノート、レポート、プレゼン、成果物）</li> <li>・ペーパーテスト</li> <li>・観察法（行動、発言、発表、実技）</li> <li>・アンケート調査</li> <li>・生徒の満足度</li> </ul>
(エ) 普通教科との連携強化			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通教科への興味・関心の向上</li> <li>・基礎学力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> <li>・普通教科への興味・関心 4段階評価3.0以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーテスト</li> <li>・作品法（ノート、レポート、成果物）</li> <li>・観察法（行動、発言、発表、実技）</li> <li>・アンケート調査</li> <li>・生徒の満足度</li> <li>・検定の取得状況（取得率、合格率等）</li> </ul>
(オ) 専門学科講師派遣事業の内容の検討			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門知識の習得</li> <li>・「課題発見力」「課題解決力」「プロデュース力」の習得</li> <li>・新たな農業手法の創造や発想力を育成</li> <li>・各学科6時間の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> <li>・専門分野に対する関心・意欲 4段階評価3.0以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品法（レポート）</li> <li>・観察法（行動、発言、発表、実技）</li> <li>・アンケート調査</li> <li>・生徒の満足度</li> </ul>
(カ) 勢多農林直売所を活用した流通学習の指導法の研究			
(2年目以降実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直売所の設置</li> <li>・専門分野の興味・関心の向上</li> <li>・農産物の流通の理解</li> <li>・有利販売の理解</li> <li>・消費者ニーズの理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直売所の稼働率 週1日以上</li> <li>・生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品法（ノート、レポート、成果物）</li> <li>・観察法（行動、発言、発表、実技）</li> <li>・アンケート調査</li> <li>・生徒の満足度</li> <li>・来校者の満足度</li> </ul>
(キ) 学科間連携の研究			
(2年目以降本格実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科間連携の企画提案</li> <li>・専門分野の興味・関心の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品法（ノート、レポート、成果物）</li> <li>・観察法（行動、発言、</li> </ul>

		・情報発信力の習得		発表、実技) ・アンケート調査 ・生徒の満足度
	(ク) 評価法の研究			
			・担当者の打合せ 学期1回以上	
イ 地域連携の研究	(ア) 地域資源を活用した農業クラブプロジェクト活動の研究			
		・農業への興味・関心の向上 ・地域農業の理解 ・情報発信力の習得 ・協働力の向上	・生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上 ・関係機関からの評価 4段階評価3.0以上	・作品法(ノート、レポート、成果物) ・観察法(行動、発言、発表、実技) ・アンケート調査 ・生徒の満足度 ・研究発表への参加
	(イ) 高大連携事業の研究			
		・専門分野の興味・関心の向上 ・高度な知識・技術への興味・関心の向上 ・専門知識・技術の習得 ・新たな農業手法の創造や発想力の育成	・生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上	・作品法(ノート、レポート、成果物) ・観察法(行動、発言、発表、実技) ・アンケート調査 ・生徒の満足度
	(ウ) フィリピン大学ロスバニヨス校附属ルーラル高校との交流活動の研究			
		・国産農畜産物の評価の認識 ・農業のグローバル化に対する意欲・チャレンジ精神の向上 ・参加者数 10名以上	・生徒の理解度・満足度 4段階評価3.0以上 ・関係機関からの評価 4段階評価3.0以上	・作品法(ノート、レポート、成果物) ・観察法(行動、発言、発表、実技) ・アンケート調査 ・生徒の満足度
	(エ) 連携先のネットワーク構築			
	・一元化したネットワーク構築の完成 ・新規連携先の開拓	・担当者の打合せ 学期1回以上実施		
ウ キャリア教育の研究	(ア) 系統的なインターンシップの研究			
		・専門分野の興味・関心の向上 ・専門的な知識・技術の習得 ・望ましい勤労観・職業	・生徒の満足度 4段階評価3.0以上 ・受入企業の評価 4段階評価3.0以上	・作品法(ノート、レポート、成果物) ・観察法(行動、発言、発表、実技) ・アンケート調査

		観の育成 ・短期インターンシップ 3日以上実施 ・長期インターンシップ 6日以上実施 ・デュアルシステム 20日以上実施		・企業アンケート調査 ・生徒の満足度 ・企業の満足度
(イ) 専門科目内でのキャリア教育の指導法の研究				
		・専門分野の興味・関心の向上 ・望ましい勤労観・職業観の育成	・生徒の満足度 4段階評価3.0以上 ・担当者の打合せ 学期1回以上実施	・作品法（ノート、レポート、成果物） ・観察法（行動、発言、発表、実技） ・アンケート調査 ・生徒の満足度

## 5. 実施体制

### (1) 研究担当者

氏名	職名	役割分担・担当教科
松島 伝一	教諭	◎研究開発主任（事業総括）、学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、地域連携推進委員、教科「農業」（畜産）
松村 哲夫	教諭	○研究開発副主任、学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、地域連携推進委員、教科「農業」（作物）
月精 道郎	教諭	○事業推進部長、学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、地域連携推進委員、教科「農業」（造園）
井田 宣昭	教諭	○学習指導法等研究推進委員長 教科「農業」（食品化学）
須賀 克也	教諭	○キャリア教育推進委員長、学習指導法等研究推進委員、教科「地理歴史・公民」
栗原 宏泰	教諭	○学習指導法等研究推進副委員長、地域連携推進委員、キャリア教育推進委員、事業推進部、教科「農業」（植物バイオテクノロジー）
新井 健司	教諭	○地域連携推進委員長、事業推進部・キャリア教育推進委員、学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（農業土木）
大山 雅裕	主任	○事業推進副部長・事務
小沼 由紀子	教諭	○地域連携推進副委員長、事業推進副部長、キャリア教育推進委員、学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（フラワーデザイン）
筑井 秀之	教諭	○キャリア教育推進副委員長、地域連携推進委員、学習法研究委員、事業推進部、教科「農業」（簿記）
大澤 英正	副主幹	事業推進部・事務
竹井 三智	主事	事業推進部・事務
豊岡 晶也	主事	事業推進部・事務

沼野 佳代	司書専門員 (主管)	事業推進部・事務
鈴木 佳子	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、教科「国語」
阿久澤 毅	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「保健体育」
鷺頭 育夫	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、教科「理科」
楠 真由美	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」(実験動物)
水島 英明	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」(食品製造)
外処 珠美	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「国語」
吉澤 勉	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「数学」
阿久澤 弘美	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、教科「家庭」
石川 充洋	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「農業」(果樹)
大塚 慎二	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「外国語」
坪内 陽祐	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「地理歴史・公民」
角田 容子	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「外国語」
岡田 裕	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「外国語」
栗原 勇夫	教 諭	学習指導法等研究推進委員、地域連携推進委員、 教科「農業」(野菜)
春田 隆	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「農業」(応用菌類)
青木 香央子	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「理科」
小林 豊	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」(実験動物)
石井 樹一郎	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「農業」(畜産)
糸井 秋雄	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」(草花)
岡田 めぐみ	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「外国語」
片岡 美穂	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、教科「国語」
須藤 幸子	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」(造園)
大木 秀一	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「農業」(環境科学)
平井 千尋	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「保健体育」
下田 裕之	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」(農業情報処理)
下城 裕斗	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「保健体育」
反町 祐太	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「数学」
椋澤 亮介	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「保健体育」
二木 朋与	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「理科」
清水 美果	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」(植物バイオテクノロジー)



		一)
原嶋 悠嗣	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「数学」
増田 寛己	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「数学」
福田 晋一郎	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「地理歴史・公民」
須田 智文	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「農業」（農業土木）
小淵 太智	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（応用菌類）
小林 悠香	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（畜産）
高橋 由香里	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「国語」
丸山 裕己	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（微生物利用）
吉野 公基	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（フラワーデザイン）
加藤 大	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「農業」（環境科学）
山田 利幸	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（造園）
大竹 徳之	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（実験動物）
澤田 修一	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（植物バイオテクノロジー）
鹿沼 安行	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「農業」（畜産）
根井 貴宏	教 諭	学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、 教科「農業」（応用菌類）
青木 勇介	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（野菜）
平方 敦	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（果樹）
渋川 明	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（草花）
池田 伴行	教 諭	学習指導法等研究推進委員 教科「農業」（畜産）
井上 速見	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（作物）
宮下 明菜	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（農業情報処理）
下田 勇人	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（環境科学）
阿久津 鳳子	教 諭	学習指導法等研究推進委員、教科「農業」（畜産）

(2) 研究推進委員会

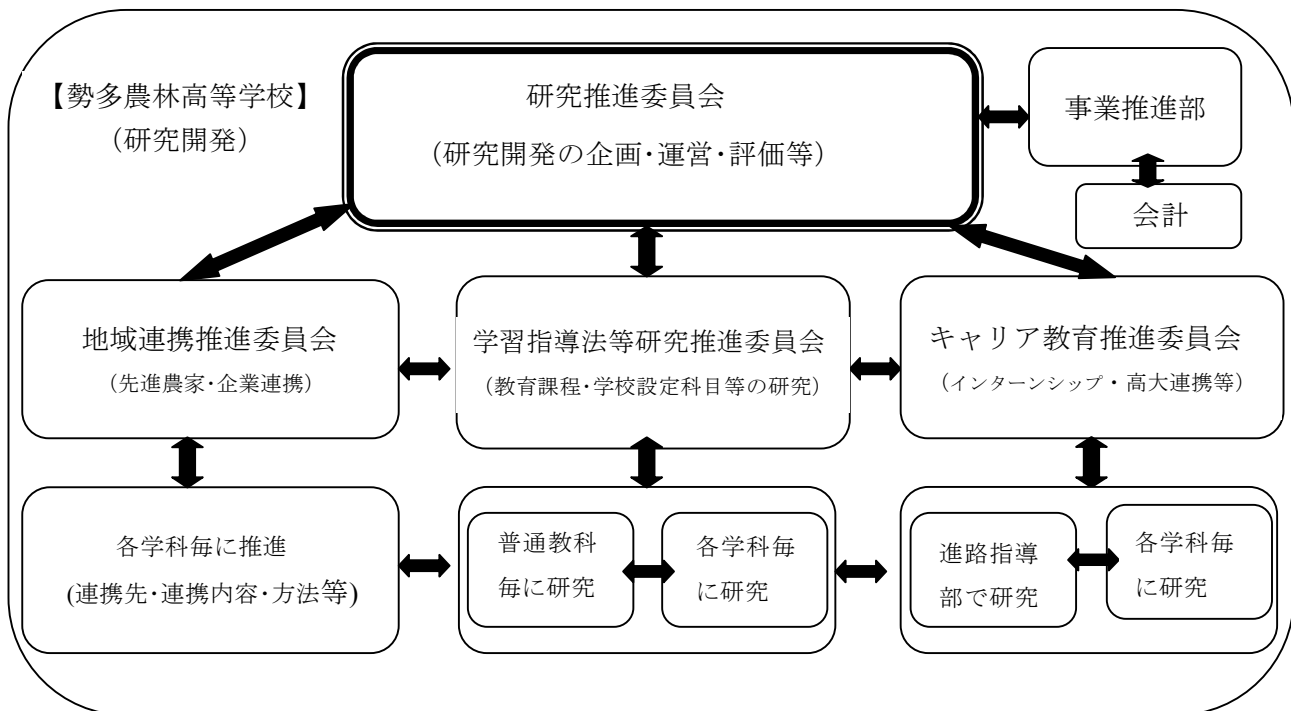
氏 名	職 名	役割分担・担当教科
高橋 太郎	群馬県教育委員会高校教育課・指導主事	指導・助言・教科「農業」
福島 実	群馬県立勢多農林高等学校・校長	研究推進委員長
島ノ江 繁	群馬県立勢多農林高等学校・教頭	研究推進副委員長
富岡 恒夫	群馬県立勢多農林高等学校・事務長	研究推進副委員長
松島 伝一	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	◎研究開発主任（事業総括）・学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委

		員、地域連携推進委員、教科「農業」
松村 哲夫	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	○研究開発副主任・学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、地域連携推進委員、教科「農業」
月精 道郎	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	○事業推進部長・学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、地域連携推進委員、教科「農業」
井田 宣昭	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	○学習指導法等研究推進委員長、教科「農業」
須賀 克也	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	○キャリア教育推進委員長、学習指導法等研究推進委員、教科「地理歴史・公民」
栗原 宏泰	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	○学習指導法等研究推進副委員長、事業推進部、キャリア教育推進委員、地域連携推進委員、教科「農業」
新井 健司	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	○地域連携推進委員長、事業推進部・キャリア教育推進委員、学習指導法等研究推進委員、教科「農業」
大山 雅裕	群馬県立勢多農林高等学校・事務	○事業推進副部長・事務
小沼 由紀子	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	○地域連携推進副委員長、事業推進副部長、キャリア教育推進委員、学習指導法等研究推進委員、教科「農業」
筑井 秀之	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	○キャリア教育推進副委員長、地域連携推進委員、学習指導法等研究推進委員、事業推進部、教科「農業」
春田 隆	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	1 学年主任、学習指導法等研究推進委員、キャリア教育推進委員、教科「農業」
栗原 勇夫	群馬県立勢多農林高等学校・教諭	P T A 主任、地域連携推進委員、学習指導法等研究推進委員、教科「農業」

(3) 運営指導委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
村山 元展	高崎経済大学・副学長	委員長（座長）、指導助言、地域政策
京免 徹雄	愛知教育大学・講師	指導・助言、キャリア教育
樋口 努	群馬県立農林大学校長	指導・助言、農林行政・担い手育成
小林 範夫	群馬県農政部農業構造政策課長	指導・助言、農林行政
田村 新衛	J A群馬中央会総合企画部長	指導・助言、農業振興
須藤 泰人	群馬県農業法人協会会長	指導・助言、農業法人経営、農業振興
岩井 雅之	株式会社 ファーム・ドゥ社長	指導・助言、企業経営
矢端 晴美	有限会社 ヤバタファーム取締役	指導・助言、農業経営（6次産業化）、 農村生活アドバイザー
山口 政夫	群馬県教育委員会高校教育課長	指導・助言、教育行政

(4) 校内における体制図



## 6. 研究内容別実施時期

月	学習指導法等研究推進委員会	キャリア教育推進委員会	地域連携推進委員会
4月	生徒の実態調査、研究方法の開発・検討		
5月	研究推進委員会の設立、研究方法の実施・準備		
	年間実施計画の作成	年間実施計画の作成	年間実施計画の作成
6月	第1回学習指導法等研究推進委員会（教科学習内容、学校設定科目学習内容の研究）	第1回キャリア教育推進委員会（高大連携事業、専門学科講師派遣事業、視察研修）	第1回地域連携推進委員会（各科毎に連携先との連携内容確認（先進農家・企業連携の実施・活用））
	第1回運営指導委員会、実施計画の検討		
7月	第2回学習指導法等研究推進委員会（教科学習内容、学校設定科目学習内容の研究）	第2回キャリア教育推進委員会（高大連携事業、専門学科講師派遣事業、デュアルシステムへの検討・取組）	第2回地域連携推進委員会（先進農家・企業との連携事業実施・活用）
8月	教科学習内容、学校設定科目学習内容の研究	長期インターンシップ実施	先進農家・企業との連携事業実施
9月	第3回学習指導法等研究推進委員会（評価方法の研究）	第3回キャリア教育推進委員会（長期インターンシップ実施、高大連携事業、専門学科講師派遣事業実施）	先進農家・企業との連携事業活用
	第2回運営指導委員会		
10月	第4回学習指導法等研究推進委員会（教科学習内容の評価・検証）	第4回キャリア教育推進委員会（高大連携事業、専門学科講師派遣事業実施視察研修）	第3回地域連携推進委員会（先進農家・企業との連携事業活用）
11月	第5回学習指導法等研究推進委員会（評価方法の研究）	第5回キャリア教育推進委員会（高大連携事業専門学科講師派遣事業実施）	先進農家・企業との連携事業の活用・検証
12月	第6回学習指導法等研究推進委員会（教科学習内容の評価・検証）	第6回キャリア教育推進委員会（短期インターンシップ実施、専門学科講師派遣事業実施）	第4回地域連携推進委員会（先進農家・企業との連携事業の活用・検証）
1月	第7回学習指導法等研究推進委員会 成果発表会準備	第7回キャリア教育推進委員会 成果発表会準備	第5回地域連携推進委員会 成果発表会準備
2月	年間の反省、成果発表会、次年度計画		
	第3回運営指導委員会		
3月	事業報告書発刊、文部科学省へ報告書提出		

※実施時期は、事業計画書提出時のものであり、実際の事業着手は契約締結後とする。

## 7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目
実績なし	余白	余白	余白	余白

## 8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

(○) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

( ) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

## 9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有  無

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

## II 委託事業経費

別紙1に記載

## III 事業連絡窓口等

別紙2に記載